

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ララランド横浜伊勢佐木	種別：認可保育所
代表者氏名：谷吉 由圭	定員（利用人数）： 69名（81名）
所在地：〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町7丁目156番	
TEL：045-341-4890	
ホームページ： <a href="https://la-la-land.co.jp/">https://la-la-land.co.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2021年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社LaLaLand			
職員数	常勤職員：	16名	非常勤職員：	11名
専門職員	保育士	19名	看護師	1名
	管理栄養士	4名		
施設・設備 の概要	(居室数)		(設備等)	
	保育室2室、事務室兼医務室1室、厨房1室、職員休憩室、ホール		マンションの2階と3階が保育園です。	

ララランド横浜伊勢佐木は、市営地下鉄ブルーライン阪東橋駅および京浜急行黄金町駅より歩いて5分ほどのビルの2・3階にあります。伊勢佐木町商店街のビルの中にある保育園ですが、富士見川公園に隣接していて、子どもたちが身体を動かしたり、季節の自然に触れたりすることができます。園は、2021年（令和3年）4月に、株式会社LaLaLandによって設立されました。法人は、他に横浜市内で認可保育園を5園、逗子市で企業主導型保育園1園運営しています。定員は69人、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は、7時から20時、土曜日は7時から18時30分です。

### ③理念・基本方針

#### ・保育理念

自分の未来を創造できる子どもに

#### ・保育目標

1. 安心感の中で穏やかで安定した子ども
2. いつも自分を精一杯表現しようとする子ども
3. 仲間、家族を大切に、一緒に生活を創り出すことを喜ぶ子ども
4. 違いを認め合い楽しめる子ども
5. より共感する力を持った思いやりのある子ども

### ④施設・事業所の特徴的な取組

#### ・言葉

意思を伝える力を育む場所 ～「粹」にとらわれない世界観～

自分の思いや考えを伝える力。それは未来を切り拓くためには絶対不可欠です。

当園は、日本語だけでなく、英語も用いた言語活動により、伝える力を養います。

・環境

一人ひとりが輝ける場所 ～子どもは「百人百色」～

すべての子どもが輝くためには、主体性を大切にしたい取り組みが必要です。

当園では「レジャ・アプローチ」の考え方を取り入れ、保育者は子どもたちの活動をサポートします。

・体験

認める力を育む場所 ～様々な体験で混ざり合う～

人は認めることで、自分自身が成長することができます。「農業体験」や「アート」

「異文化交流」を通して、様々な違いに触れ、混ざり合い、多様なものを認める力を養います。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月21日(契約日)～2024年3月12日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●保育士の見守りのもと、子どもたちはのびのびと園生活を楽しんでいます

園は、子どもたちが自分たちで考えて行動する主体性を大切に保育しています。保育士は、クラスや職員会議等で子どもの姿や家庭の状況、子どもの行動の背景にある思いなどについて話し合い、一人ひとりに合わせた対応をしています。保育室には、子どもの年齢や発達、興味、関心に合わせた玩具や絵本が子どもの目線に合わせて置かれ、遊びのコーナーなどが設定されていて、子どもが好きな遊びを選び、活動できるようになっています。

保育士は、笑顔で子どもに前向きな言葉で話しかけ、子どもが自分の思いを表出できるように働きかけています。子どもの甘えも受け止め、寄り添っています。乳児から複数の遊びの中から選ぶなどの機会を多く作り、2歳児後半からは朝の会で、遊びや散歩の行き先を話し合ったり、自分の考えを発表するなどし、子どもが主体的に活動に関われるようにしています。言葉でうまく表現できない子どもには保育士がそっとそばにつき、子どもの思いを整理して言葉にするなどの援助をしています。できたことは褒め、職員皆で認めることで、子どもが達成感を感じ、自己肯定感を感じられるようにしています。歌やダンス、劇遊び、アートなどの表現遊びや運動サーキット、マット、跳び箱などの体幹遊び、散歩など様々な活動を取り入れ、子どもが友だちと一緒に様々な経験を重ね、生活力や社会性、協調性などを身につけられるようにしています。このように、子どもたちは保育士に優しく見守られ、のびのびと自分らしさを表し、園生活を楽しんでいます。

●保護者支援に力を入れています

園は、子どもが安心・安全に生活するためには保護者の安定が大切であることから、保護者支援に力を入れています。朝夕の送迎時には、保育アプリでの連絡帳だけでなく、口頭でも子どもの様子について密に情報交換しています。クラスの活動や子どもの姿は、毎日のドキュメンテーション、毎月のクラスだより、年2回の懇談会などで伝えています。年2回の個人面談のほか、必要に応じて随時面談を実施し、保護者の相談にのっています。日本語の理解が難しい外国籍の保護者に向けて関係機関への手続きを説明し、一緒に行くなど、保護者の個別の課題に丁寧に寄り添っています。園長を始めとして職員は皆、保護者に積極的に話しかけて子どものことを伝えて相談にのってアドバイスや援助をし、保護者が子どものことを理解し、安心して子育てができるように支援しています。このような園の姿勢は、今回の保護者アンケートの高い満足度からも読み取ることができます。

### 【今後に期待される点】

#### ●法人と協力して園の進むべき方向性を事業計画にまとめ、職員に周知していくことが期待されます

園では、前年度の園の自己評価に基づき年度の園目標を定めていますが、事業計画を作成することはしていません。年間指導計画に沿って保育は展開されていますが、その場その場の課題に対応する形となっていて、園目標達成のために何が必要か、どのように取り組んでいくかなどがはっきりしてなく、組織的な取り組みとしては弱さがあります。事業計画を策定して方向性を明示することで、職員との課題の共有がなされ、見直しをもって保育にあたることができ、運営の安定にもつながります。職員とどのように取り組んでいくかを話し合っ、事業計画にまとめていくことが期待されます。また、法人の中長期計画がありますが、園に周知されていないので、法人との連携を深めて方向性を共有し、職員に周知していくことが期待されます。

#### ●法人と連携し、計画的に人材を育成していくことが期待されます

園では、園長・主任が各種会議に参加して一緒に指導計画を作成したり、職員配置を工夫して研修に積極的に派遣するなどしていますが、人材育成計画や研修計画などは作成していません。そのため、園内研修などもその場その場で必要な研修をする形になっていて、職員の特技や良さをどのような形で生かしていくかなど、長期的な視点に欠けるものとなっています。法人と連携して職員が将来の展望を持って保育に取り組めるような人材育成計画を作成し、職員に説明していくことが期待されます。また、職員と意見交換し、職員の意向も踏まえた全体および個人の研修計画を作成していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価という貴重な機会をいただき感謝しております。また、保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただき御礼申し上げます。

開園から今日に至るまで、如何なるときも『子どもをまんなかに』を全員の合言葉にして進んで参りました。時には、方向性が間違っているのではないかと、思い悩むこともありましたが、職員間で何度も何度も対話を重ね、試行錯誤しながら、これまで伊勢佐木園に携わった皆で園を創ってきました。今回頂いた評価が、ありのままの伊勢佐木の『今』そのものでした。改善点は一つひとつ改善し、良い点はさらに伸ばしていけるように、尽力して参ります。今回の評価結果の振り返りを職員で行いました。全体的に自己評価が低く、頂いた結果に驚く姿が多く見られました。『今までの積み重ねを継続していきながら、もっと何かできるのではないかと思えた。』

『自分自身も主体的に行動していきたい』『計画性を持って保育を行っていきたい』『保護者の方々の想いを大切にしていきたい』等、前向きな意見が多く聞かれました。子どもファーストで職員の負担が大きくなっていた事もあったので、職員の気持ちも大切に、自己評価が向上していけるよう努めて参ります。

子ども・保護者・職員・地域の方々と協働し、皆に愛される園を創ってまいります。

ありがとうございました。

ララランド横浜伊勢佐木 谷吉 由圭

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり